



歓迎遠足で旧郡浦小学校へ！ みんなで楽しい一時を過ごしました

残念ながら、私は出張のため途中からしかで参加できなかったのですが、12日（金）は歓迎遠足を実施しました。天気もよく、私が到着したときには、子供たちは運動場いっぱい広がって遊んでいました。上級生は1年生の面倒をよく見てくれており、「しっかりお世話できました」「6年生に遊んでもらって楽しかった」という声を聞くことができました。実に頼もしい限りです。お弁当もおいしかったようで、本当にいい一日になったな、と思いました。個人的な話になりますが、旧校舎に入ったのは、実に44年ぶりで、記憶をたどりながらなつかしさに浸っていました。とても広く感じた校庭も狭く感じました。（当たり前ですが・・・）子供たちにその話をし、「44年ってどれくらい長いかわかるかなあ？」と尋ねてみたところ、「分からない」という回答もありました・・・ですよね。（写真：縦割り班で遊ぶ子供たち。最後には、しっかりゴミ拾いもして帰りました）



前途洋々

今年もキビ植えをしました！ ふるさとの伝統を脈々と引き継いで・・・

今年も、三角サトウキビ活性化会（会長 高濱様）、PTAの皆様のご協力を得て、キビ植えを行いました。さすが、上級生の子供たちは慣れているようです。1年生は初めての体験にワクワクドキドキ。私が小学生のときは、黒砂糖の伝統は大岳地区、というイメージがあり、実際に黒砂糖に関する学習をしたことはありませんでした。（毎年新聞に取り上げられているのは見ていましたが・・・）実際に体験してみると知らなかったことばかり！まず、キビを「立てて」植えるのかと思ったら、掘った土の中に「横向きに寝かせて」植えることに驚きました。キビの節には、「芽」があり、それが伸びていくということも知りませんでした。子供たちは穴に寝かせたキビに「大きくなってね」と言いながら土を優しくかけていました。また、過年度植えて刈り取った株からも、新しい芽が伸びていました。（知らなければ、危うく抜いてしまうところでした）これから、大人の手を借りてではありますが、しっかりお世話をして、キビの成長の喜びも感じてほしいです。皆様、朝早くから本当にお世話になりました。



植える前のキビ。高濱さんが、「とても状態のいい種キビですよ」とおっしゃっていました。

自分が植えるキビを受け取る子供たち。

キビの節のところに、赤ちゃんの芽が出ています。



毎年お世話になっている、三角サトウキビ活性化会長の高濱希好さん。総合的な学習の時間でもゲスト・ティーチャーとしてお世話になります



古い株から伸びた新しい芽。知らなければ抜いてしまうところでした！

